

鞍手町新庁舎の建てられた場所は、計画時の想定よりも地下水が非常に多く熱伝導率が高いことが確認されたため、**地中熱利用に大変適していると判断されました。**

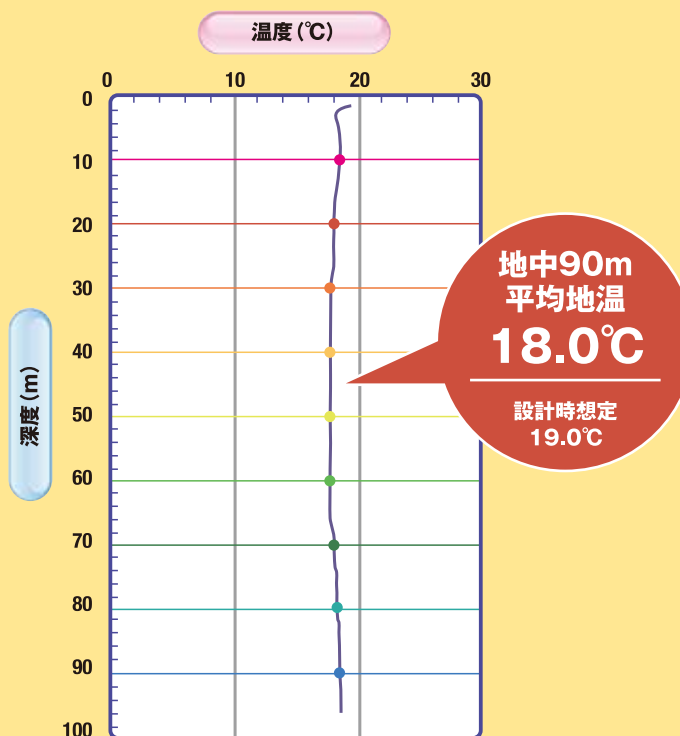
設計時想定

1.70W/m・K

試験結果

2.89W/m・K

地中温度測定



地中熱とは、天候にも時間帯にも左右されない、日本中どこでもいつでも利用できる、地中10m～100m前後の15～16℃くらいの温度帯であり、再生可能エネルギー熱の一つです。



設計監理 **AXS** 株式会社 佐藤総合計画

施工会社 **戸田建設株式会社**

地中熱設備 **MISAWA** 株式会社

鞍手の大地と 共に歩む



～地球にやさしい「地中熱」で
100年先まで心地よい役場へ～

福岡県
鞍手町

Neary ZEBとCASBEE-ウェルネスオフィスSランク 同時認証取得を実現した日本初の庁舎

(※2024年4月時点)

鞍手町新庁舎は、職員・町民の皆様が快適に過ごせるよう、カーボンニュートラルに加え、ウェルネスの向上を目指して建設されました。空調は地中熱システムを活用しています。



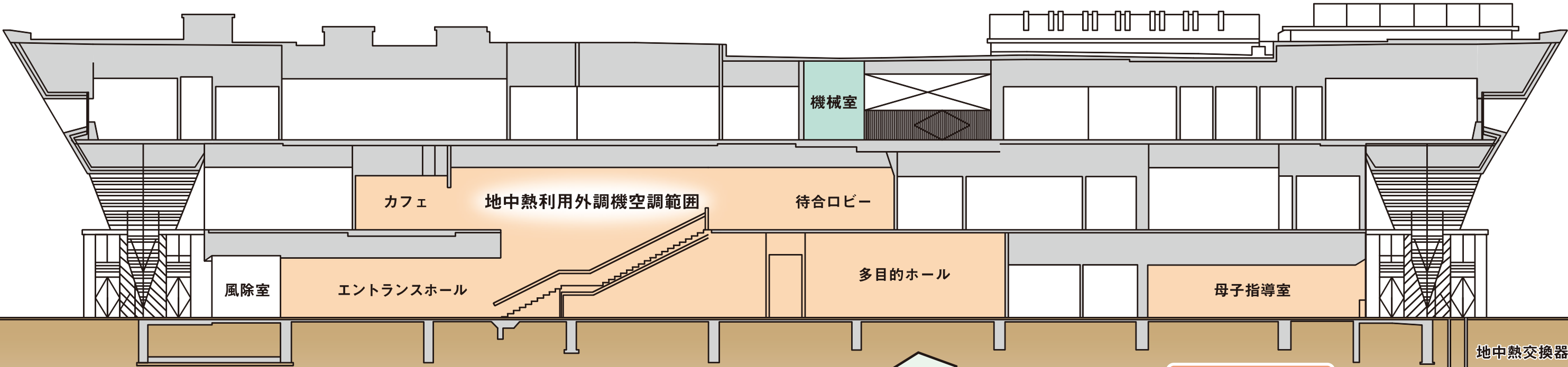
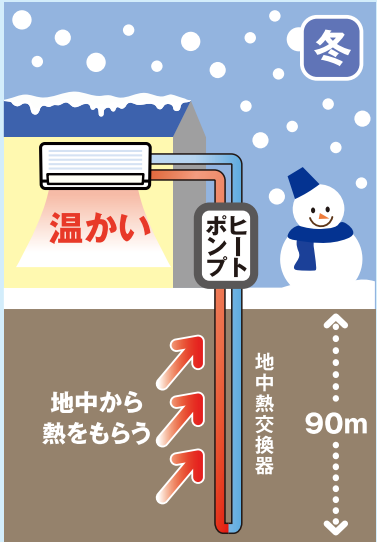
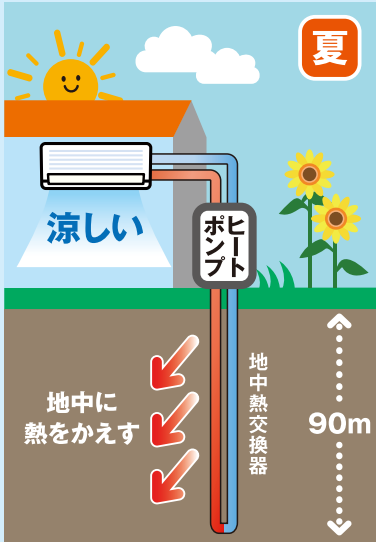
■鞍手町役場 施設概要

所在地:福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧2080番地2
構造・規模:S造 地上3階建て
敷地面積:11,582.47㎡
建築面積:2,425.42㎡
延床面積:5,392.10㎡
竣工日:2024年10月31日



地中熱利用ヒートポンプとは？

「地中熱利用ヒートポンプ」は、地中に「地中熱交換器」を埋め込み、「ヒートポンプ」で地中から熱をもらったり、熱を返したりして熱交換を行います。空気で熱交換を行うエアコンに比べて温度変化が少ないので、「ヒートポンプ」の効率が上がり消費電力の削減になります。



地中熱交換器の設置

